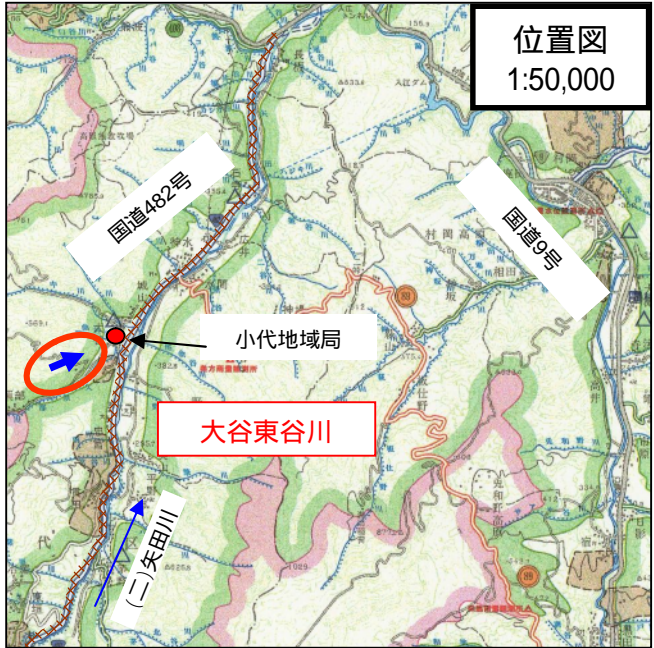


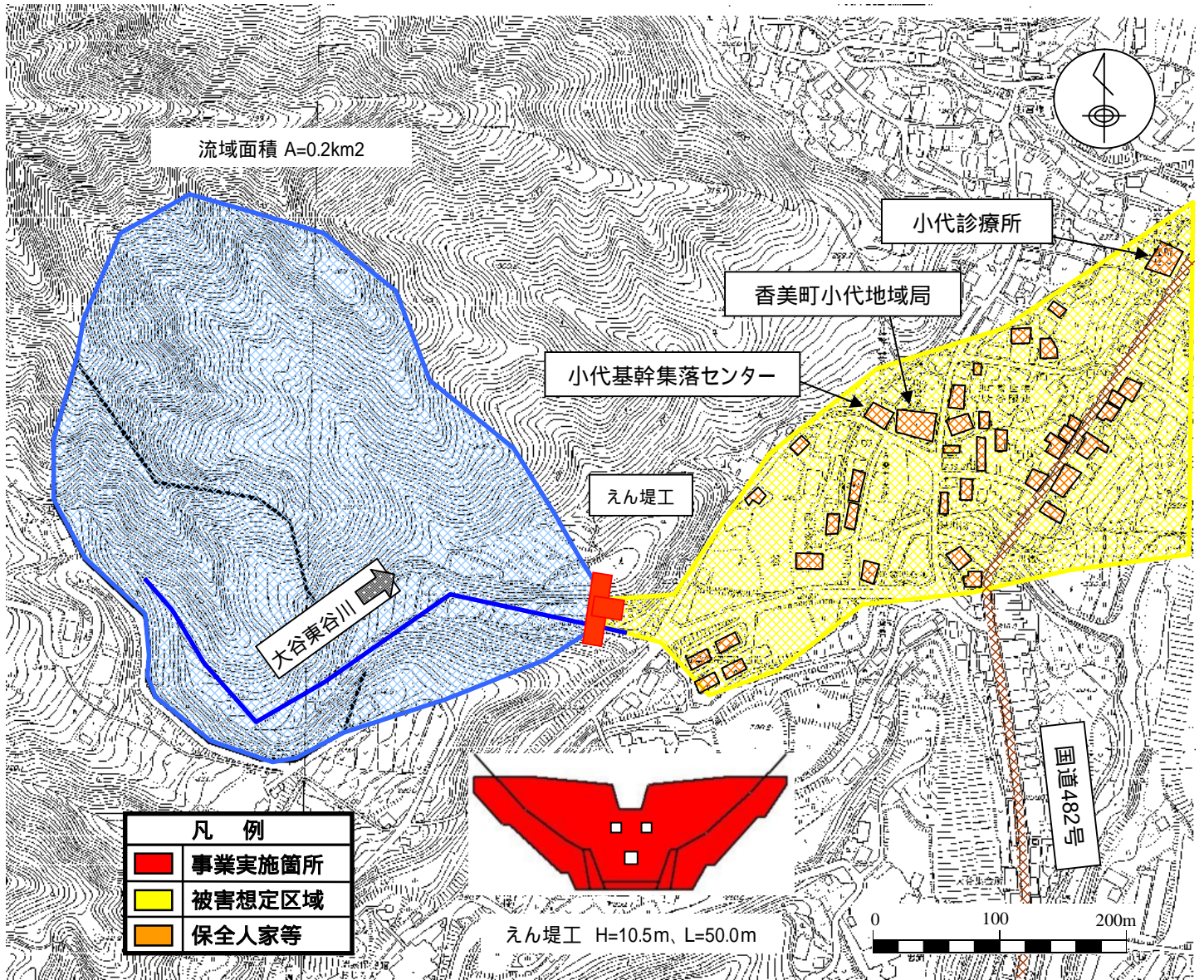
投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 市川和幸 (一宮大祐)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5億円
		通常砂防事業 おおたにひがしたにがわ 大谷東谷川	美方郡香美町 おじろくおおたに 小代区大谷	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
美方郡香美町小代区大谷				H25	H27
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から人家等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 10.5m, L = 50.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(二)矢田川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進み、多数の転石(0.6~1.2m)も存在しているなど、流域の荒廃が進行している。 ・谷出口に多くの人家や、災害時要援護者関連施設である診療所があり、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約4ha(長さ400m、最大幅200m程度)に及ぶ。 ・ <u>小代診療所(災害時要援護者関連施設)、小代基幹集落センター(避難所)、人家84戸、小代地域局、国道482号(緊急輸送路)</u>				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・特に防災上の配慮を要する災害時要援護者関連施設を保全することにより、土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。				
〔事業執行環境〕	・事業や工事用道路について地元の理解が得られており、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・工事による掘削法面については、緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・診療所や災害時要援護者関連施設があることに加え、この地域の中心を成すところで、公共施設、人家等の保全対象が多く、地元からの要望が強い。 以上より、H25年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

おおたにひがしたにがわ
大谷東谷川
 [香美町]



計画概略図
 縮尺 1 : 5 , 0 0 0



凡例	
	事業実施箇所
	被害想定区域
	保全人家等

えん堤工 H=10.5m、L=50.0m